この学校では、こんな学びが始まる

小豆島全体の“活きた学び場”で多様な進路を実現

多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

香川県立小豆島中央高等学校（しょうどしま ちゅうおう）

全日制・定時制／普通科

この改革が必要な背景

- 小豆島では**統合で高校が1校**になり、通学距離拡大と進路希望多様化により**島外進学が増加**（令和7年度31%）
- **地域未来への関心を育みながら地理的ハンディキャップを越えて**、生徒の多様な学習ニーズに応える教育体験・教育環境の構築が急務

事業概要（学びの変化）

「地域まるごとラボシステム」で、島全域を活用した学び

- ✓ 学校内だけでなく、自治体や企業の施設を使う**「地域まるごとラボシステム」**を構築
- ✓ **東京農業大学×土庄町×夕陽ヶ丘ホテル**等の**産学連携協定の拠点となる「北浦公民館」**を活用し、スマート農業・水産の課題解決を実践
- ✓ **企業の新規事業関連施設**や**ドローンスクールで**、先端テクノロジーを直接操作・実証
- ✓ 生徒は地域課題を探究するだけでなく、企業の事業実証ともつなげながら、**社会実装まで挑戦**

メタバースと遠隔技術で、離島でも学びの選択肢を拡大

- ✓ 地域課題探究のための仮想空間メタバース**「小豆島探究クエストシステム」**を構築。地域課題をクエストとして掲示し、生徒がアバターで参加
- ✓ アバターロボット「temi」により、**島外の大学生、卒業生、企業の人とも日常的に連携**し、**離島にいながら**、進学希望者も就労希望者も、**学びの選択肢を獲得**

メンターや進学に向けたサポートで進路を切り開く

- ✓ 探究だけでなく、入試対策や基礎学力向上まで支援する**メンター制度**を整備し、卒業生や外部の大学生・専門人材が、学習計画、面接、小論文、資格対策などをサポート
- ✓ 県内の進学校と遠隔でつながり、より**高度な授業や発展講座を受講可能**とするとともに、**香川大学などとの連携**により、単位認定可能な**大学科目の先取り履修**で、個人の希望進路に合わせて最適化

＜生徒の1日の流れ（例）※STEAM探究コース所属２年目Ａさん＞

【8:00】
出勤前の地域住民から探究活動の進捗に関しアドバイスを受ける

【13:30】
スタートアップ企業からアドバイスを受ける

【16:30】
サテライトキャンパスにて新商品開発、本格販売前のテストマーケティング、新規事業実証などを実施

【18:00】
放課後、大学生メンターによる個別指導を受けながら、定期試験や英検対策を行う

高校生の未来の姿（指標の例）

メタバース活用も含め、大学・先進企業等と協働した PBL の実施件数

(現状) 4件 ⇒ (R10) 10件 ⇒ (R13) 20件

卒業時点の進路決定率

90% ⇒ 95% ⇒ 100%

他校への普及方策

- 「小豆島着地型の探究研修」による他校受入
- 地域まるごとラボシステムの他校への展開　等

主な連携機関

小豆島町、土庄町、一般社団法人小豆島・瀬戸内エリアマネジメント協会　等

（出典）都道府県の提出書類及び生成AIにより作成した画像をもとに文部科学省において作成

類型 3